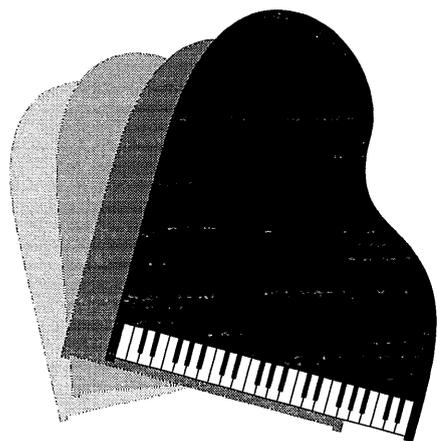


児童生徒による故郷復興プロジェクト

復興ソング歌詞入賞作品



仙台市教育委員会

あいさつ

仙台市教育委員会

教育長 青沼 一民

東日本大震災から市民が一丸となって復興を目指す中で、平成23年度から「復興へ！学校の力結集！」のスローガンの基、仙台市内の小中学校、中等教育学校、特別支援学校の全児童生徒が、自分たちのできることを考え、全市一斉、または各学校で取組んできました。

各学校の代表児童生徒による「故郷復興サミット」において、自分たちの復興への願いと仙台市民が一つとなり復興に取り組む決意を曲にして歌い継いでいこう、全国や世界に対して感謝の気持ちを発信していこうという思いから、復興ソングを制作したいとの提案がありました。

そして、各区代表児童生徒による復興プロジェクト実行委員会で話し合いをし、復興ソングの歌詞を募集することとなりました。その呼びかけに対して、各学校より沢山の作品が集まりました。全員が一作品を書いたという学校や放課後に講習会を開いて取組んだ学校があると聞いており、実際に応募された作品より何倍もの児童生徒の思いがこの取組に込められていると感じました。

みなさんの作品には、小学生や中学生の立場でできること、思い描く将来の故郷の姿、復興に向けて真剣に考えていることなど、自分の気持ちが素直に綴られています。また、あの大震災を経験し、怖かったこと、辛かったこと、苦しかったこと、悲しかったこと、頑張ってきたことなど、経験を乗り越えてきた人々に共通するさまざまな思いが伝わってきます。言葉を通して、改めて一人一人の思いに触れて心を強く動かされました。

仙台市にとって、「児童生徒による故郷復興プロジェクト」に取り組むみなさんの姿が明日の希望へと繋がっています。この復興ソングが児童生徒だけでなく、広く市民のみなさんにも歌い継がれるものとなり、長い時間が経過しても今のみなさんの思いが受け継がれていくと思います。

最後になりますが、復興ソング歌詞募集に応募してくれた児童生徒のみなさん、各学校において熱心に御指導いただいた先生方の御尽力に心から感謝申し上げます。

児童生徒による故郷^{ふるさと}復興プロジェクト

復興ソング歌詞入賞者

最優秀賞

| | 学校 | 作品名 | 氏名 | | 学年 |
|-----|-----|-------|-------|---------|----|
| 小学校 | 台原 | 希望の道 | 越後 瑠璃 | えちご るり | 6 |
| 中学校 | 南小泉 | 希望への道 | 藪内 海美 | やぶうち あみ | 2 |

優秀賞

| | 学校 | 作品名 | 氏名 | | 学年 |
|-----|-----|-------------|--------------------------|----------------------------------|----|
| 小学校 | 向山 | 未来を信じて | 吉田 ひかり 大友 玲奈 関川 颯人 | よしだ ひかり おおとも れいな せきかわ りゅうと | 4 |
| | 東仙台 | ふるさとのまち | 佐藤 由芽 | さとう ゆめ | 6 |
| | 将監 | 仲間 | 小島 健晴 | こじま けんせい | 3 |
| | 将監 | 小さなものも大きな力に | 徳地 哲明 | とくち てつあき | 3 |
| 中学校 | 愛宕 | Our place | 太田 茉里花 | おおた まりか | 2 |
| | 長町 | 光筋(みち) | 松戸 玲菜 | まつど れな | 2 |
| | 北仙台 | 歩いていこう | 佐々木 陽菜 | ささき ひな | 1 |
| | 山田 | 希望 | 鶴淵 友香 | つるぶち ともか | 3 |
| | 山田 | 希望 | 勝又 絵理奈 | かつまた えりな | 2 |
| | 富沢 | 明日への希望 | 阿部 美咲 | あべ みさき | 1 |
| | 富沢 | 伝えたい言葉 | 堺 美沙紀 | さかい みさき | 1 |
| | 住吉台 | 明日へ | 谷津 千尋 | やつ ちひろ | 3 |

最優秀賞・小学校

きぼう みち
希望の道

一
夜空を見上げて 思い出す
あの日の星の かがやきを
日差しを浴びて 思い出す
あの日の人の あたたかさ
だれもがみんな助け合い
だれもがみんな支え合った
あの日のことを 心に刻み
前をしつかり 見つめながら
歩んでいこう 未来への道を

二
雪のまう日に 思い出す
あの日の夜の 冷たさを
ラジオの語りに 思い出す
あの日が教えてくれたこと
日本中が助け合い
世界中が支えてくれた
あの日のことを 心に刻み
前をしつかり 見つめながら
歩んでいこう 希望の道を
だれもがみんな助け合い
だれもがみんな支え合った
あの日のことを 心に刻み
前をしつかり 見つめながら
歩き続けよう 希望の道を

仙台市立台原小学校

六年 越後 瑠璃

最優秀賞・中学校

きぼう みち
希望への道

一
私には何ができるだろう
感謝の気持ちを忘れないこと
復興を心から祈ること
優しさと笑顔をみんなに届けること
不安で前が見えなくなったあの日から
私たちは歩き始めた
復興という光を目指して
前へ前へ仲間と共に 一歩一歩力強く

二
私には何ができるだろう
思いやりの心をもつこと
みんなの幸せを願うこと
残された命を精一杯生きること
大切なものを失ったあの日から
私たちは歩き始めた
大好きなまちをとり戻すため
前へ前へ仲間と共に 一歩一歩力強く
大切なものを失ったあの日から
私たちは歩き始めた
大好きなまちをとり戻すため
前へ前へ仲間と共に 一歩一歩力強く

仙台市立南小泉中学校

二年 藪内 海美

優秀賞・小学校

みらい しん
未来を信じて

一 つらい日やかなしい日 それを笑顔に変えて
道を切り開いてゆこう
かなしみをのりこえた先には
きつといいことがあるから
もし未来をのぞくことができるなら その未来を信じて
明日をあゆんでいこう かこをかえることはできない
けれど未来をかえることはできるかもしれない
未来を信じて ぼくらは生きてゆく
楽しかったあの日々をとりもどすために

二 楽しい日とかなしい日 そんなのいっぱいあるけど
楽しい日がいっぱいあるといいなあ
のぞいた未来が自分の
のぞんでいない未来なら
自分で変えてゆこう きつときみならでできるはずさ
もつと自信をもつて あしたはきょうよりいい日になるから
明日を信じてみんなでがんばろう
未来を信じて ぼくらは夢へすすむ
きれいだったあのまちをとりもどすために
ひとりはずらい だからみんなでささえ合つて
明日という名のトビラを開こう なかまはそばにいる
だから未来を信じていっしょに歩んでいこう
友達は宝物 きつと大丈夫
未来を信じて 明日へ向かおう

仙台市立向山小学校

四年 吉田 ひかり

大友 玲奈

関川 颯人

ふるさとのまち

一 わたしのふるさととは あたたかいやさしい町
わたしのふるさとには ほこらしい人々がいる
さみしい時もつらい時にも
いつもやさしく見守ってくれた
あのあたたかいふるさとのまち
あのふるさとのまち
風 雲が流れていて 春を感じとれるよ
夏秋冬それから また春にもどる

二 わたしのふるさととは あたたかい楽しい町
わたしのふるさとには ほこらしい人々がいる
さみしい時もつらい時にも
いつもあたたかく守ってくれた
あのほこらしい人々がいる
このふるさとのまち
空 光が広がって 春を感じとれるよ
夏秋冬と回って また春にもどる
風 雲が流れていて 春を感じとれるよ
夏秋冬 それから また春にもどる

仙台市立東仙台小学校

六年 佐藤 由芽

なかま
仲間

一 遠い遠い 異国の地から
とどいた一通の はげましの手紙
がんばって書いた 日本語に
ぼくもがんばれると 思った
進もう歩こう 未来へ向かって
前を向けば きつと見えるさ
友 家族 そして世界中の
仲間たちが 待っているから

二 遠い遠い 異国の地から
とどいたいくつもの はげましの言葉
がんばって言った 日本語に
力になりたいと 思った
進もう歩こう 勇気をいだいて
友は言うよ 「きつと行けるさ」
ゆめ きぼう そして世界中の
仲間たちの「思い」をむねに
進もう歩こう 未来へ向かって
前を向けば きつと見えるさ
友 家族 そして世界中の
仲間たちが 待っているから

仙台市立将監小学校

三年 小島 健晴

ちい
小さなものも大きな力に
おほ
ちから

一 ここちいい 春の日
まがりしている あの学校で
遠くの見知らぬ 友だちが
えんぴつ消しゴム たくさんくれた
がんばって勉強しようと ぼくは元気がわいた
ともに進もう 前へ
小さなえんぴつ 一本さえ
大きなきぼうの 力になった
ありがとう 大切にすよ
だからぼくは がんばるよ

二 ある晴れた 夏の日
やつと通えた この学校で
日本や世界の 友だちが
いろんな手紙を たくさんくれた
がんばって歩いていこうと ぼくは元気がわいた
ともに進もう 前へ
小さなお手紙 一通さえ
大きなきぼうの 力になった
ありがとう 大切にすよ
だからぼくは がんばるよ
ともに進もう 前へ
小さなやさしさ 一つぶさえ
大きなきぼうの 力になった
ありがとう 大切にすよ
だからみんなが がんばろう

仙台市立将監小学校

三年 徳地 哲明

一 忘れない あの日の出来事
立ち止まらず 歩き続けた
励まし 励まされて
あなたと 歩んできた
咲かせよう 笑顔の花を
育てよう 復興の花を
届けよう 希望の花を
いつまでも 枯らさないように

二 忘れない あの日の思い出
失うことで 大切に気付く
泣いてたつて 始まらない
今私たちに 何が出来るだろう
咲かせよう 笑顔の花を
育てよう 復興の花を
届けよう 希望の花を
いつまでも 枯らさないように
咲かせよう 笑顔の花を
育てよう 復興の花を
届けよう 希望の花を
いつまでも 枯らさないように
いつまでも いつまでも

仙台市立愛宕中学校

二年 太田 茉里花

光筋（みち）

一 あの日見た景色 忘れないメモリー
こころ折れ 希望失っても
けつしてためらわない
信じる先に 明日はあるさ
たとえ暗闇に 落とされても
どこかに光筋みちがある
遠くまで ひかる未来
ボクらが築くんだ 進まないか？

二 真つ暗な世界に 聴こえるメロデー
道もなく 荒れ果てたこの地に
ヒカリ照らしてくれた
つながっているんだ 想いの絆
想いが勇気へ 変わった瞬間
ボクらは輝けた
怖くても 哀しくても
進もうと誓えた ありがとう
きつと見えるはず 希望の空
大空に羽ばたこう
胸張って 振り返らず
行くんだ指す光筋みちへ 笑顔まで

仙台市立長町中学校

二年 松戸 玲菜

歩いていこう

一
歩いていこう 希望をさがして
さあ始めよう 忘れられていた希望を拾って
ここに必ず 希望があるから
自由を信じて 進んでいけばいい
僕は強く強く 生きていくんだ
あるとき僕は あきらめないと決めた
僕は歩いていく この足で
できることを 今始めよう

二
歩いていこう 光をさがして
光がここからどこまでも 広がっていく
手にあふれだす力 この手ならつかめる
その手につかんだ 未来は永遠だ
僕は強く強く 生きていくんだ
あるときちかつたこと 絶対忘れない
僕は歩いていく 自分の足で
未来のために 始めよう
僕は強く強く 生きていくんだ
あるとき僕は あきらめないと決めた
僕は歩いていく この足で
できることを 今始めよう

仙台市立北仙台中学校

一年 佐々木 陽菜

希望 きぼう

一
いつも見ていた あの景色は
今ではもう 戻らないのかもしれないけど
あせらずに少しずつ 取り戻していこう
時間はかかるかも しれないけど大丈夫
やまない雨なんて あるわけない
届け僕の声 泣いている君まで
悔やまなくていい 不安がらなくていい
大切な想いうしなわないで

二
止まった時計を 動かそう
辛いこと 嬉しいことも生きているから
まっすぐ前を向いて 歩いていこうよ
なにがあるうとも 乗り越えていけるはず
あけない夜なんて あるわけないよ
届け僕の声 震えている君まで
怖がらなくていい 何も責める事はない
いつか笑顔になりますように
やまない雨なんて あるわけない
届け僕の声 泣いている君まで
かなしみが希望に 変わるときまで
全て世界はかがやきに満ちる

仙台市立山田中学校

三年 鶴淵 友香

希望 きぼう

一 私達は忘れない あの時の事を
いつまでも ところに強ききざみながら
人の優しさを感じた 勇気をもたらした
希望を掴むため 私達は歩き始めたんだ
一つ一つの一瞬を つよい友情を
平和な時を すべて忘れない
未来へ続く一步を 平和な未来へ一步を
えがおでふみ出してみようよ

二 僕達は忘れない あの時の事を
いつまでも ところに強ききざみながら
涙目で見たあの夜空 星が輝いていた
希望を掴むため 僕達は歩き始めたんだ
一つ一つの一瞬を 大切なこの時を
平和な時を すべて忘れない
未来へ続く一步を 平和な未来へ一步を
えがおでふみ出してみようよ

一つ一つの一瞬を つよい友情を
平和な時を 決して忘れない
未来へ続く一步を 怖くなんかない
えがおでふみ出してみようよ

仙台市立山田中学校

二年 勝又 絵理奈

明日への希望 あした きぼう

一 振り返らず進んでいこう
前だけを見て
みんな不安を分けあって
共に行こう
僕らの未来をつくるため
時計の針を進めよう
あの笑顔を思い出して
心一つに いつでも夢をみよう
さしのべてくれた手に感謝して
ありがとう ありがとう

二 空を見上げて上を向こう
太陽のように
愛や希望を忘れずに
共に行こう
僕らの明日を守るため
輝きを取り戻すんだ
絆を確かめあって
どんな時でも笑顔を絶やさずに
大好きなふるさと抱きしめて
ありがとう ありがとう

仙台市立富沢中学校

一年 阿部 美咲

つた
ことば
伝えたい言葉

一 さあ立ちあがつて
あの輝く町で 共に生きるため
今は色をなくしていても
僕達があざやかにいろどる
たとえ今 辛くても
必ず笑顔になれる日がくる
だからその日のために
できることから始めよう

二 ほら思い出して
世界中のみんな 支えてくれたこと
だからこんどは私達が
「ありがとう」って返す番だよ
たくさん支援物資
数え切れない「がんばって」の言葉
今だから言えること
「希望と勇気ありがとう」
たくさん支援物資
数え切れない「がんばって」の言葉
辛くても忘れずに
語りつぐ 次の世代へ

仙台市立富沢中学校
一年 堺 美沙紀

あした
明日へ

一 思い出を共にしてきた
たったひとつのこの場所で
あふれる笑顔 凜と立つ草花
失うことはない そう思ってた
あの日僕らは大切なものを
数えきれないほど手放してしまった
後ろを振り返ってばかりじゃ
きつと何も変わりはしない
前を向いてゆこう 取り戻すために
笑顔咲き誇る故郷を

二 瞬間を共にしてきた
たったひとつのこの場所で
遠くからの声 心をつなぐ架け橋
背中を押されている そう感じた
気づけば僕らは目に見えていなくとも
確かなものを手に握りしめていた
後ろを振り返ってばかりじゃ
きつと何も変わりはしない
手をつないでゆこう 進んで行くために
心温かき故郷を
後ろを振り返ってばかりじゃ
きつと何も変わりはしない
歌い継いでゆこう 時に流されぬように
今誇るべき故郷を

仙台市立住吉台中学校
三年 谷津 千尋

「児童生徒による故郷復興プロジェクト」復興ソング歌詞応募状況について

| | 参加校数 | 作品数 |
|-----|------|-----|
| 小学校 | 25 | 106 |
| 中学校 | 26 | 270 |

※ 御協力ありがとうございました。



絆・元氣・未来